

## JAPICとは

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会（Japan Project-Industry Council：JAPIC）は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済、環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、日本の明るい未来を創生することを目指して活動して参りました。現在 37 業種 205 社の企業、地方自治体、団体、NPO 等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。



JAPIC会長  
宗岡 正二  
Shoji Muneoka  
新日鐵住金(株)  
代表取締役会長

## 開設趣旨

世界は、新興国の急成長や情報通信技術の目覚ましい進歩、金融市場のボーダレス化などにより、グローバルな大交流・大競争時代にシフトしています。

この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、全学部生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。

## 学生に期待するもの

講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か?」、「グローバル化の中で日本は?」について理解し、大競争時代の事実認識についての強い関心と好奇心を持って、グローバル時代にチャレンジすることを期待します。

主催：神戸大学連携創造本部  
サポート：神戸大学東京六甲クラブ

問い合わせ先

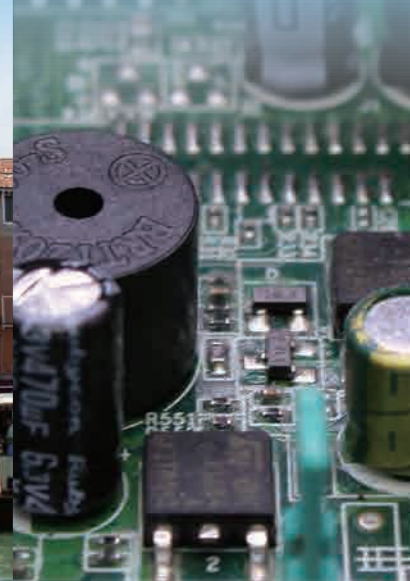
神戸大学研究推進部連携推進課  
産学官連携グループ

連絡先電話番号 078-803-5427  
E-mail ksui-sangaku@office.kobe-u.ac.jp

# 世界に挑む

産業界・官界・政界トップリーダーによる

# 連続リレー講座 2016



**科目名** 社会基礎学(グローバル人材に不可欠な教養)

**基本  
コンセプト**

グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?  
学生は何を学び、何を身につけるべきか?

神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)との連携協定に基づき、産業界・官界・政界のトップランナーがオムニバス形式で講義します。  
今、企業でどんな人材が求められているのか?学生に何を身に付けてほしいのか?  
土曜の午後を、貴方のキャリアアップの時間に充ててください。

**開講日時** 平成28年度 第2クォーター 土曜日 10:40~16:40(初日と最終日は 13:20~16:40)

**場所** 鶴甲第1キャンパス K棟 K202教室

**科目区分** 総合教養科目(学部1,2年生) / 総合科目I(学部3年生以上)

 **神戸大学**



## 社会基礎学 推薦文 (平成27年度受講生より)

### 国際文化学部1回生

このリレー講座のテーマに「グローバル人材に不可欠な教養」とあり、同世代の他学部の学生も外に関心があるだろうかと最初は思いました。しかし、質疑応答では「留学には興味がない」という意見が出て驚きました。国際文化学部では留学を志す友人が多くいて、それが当たり前だと認識してしまっていたのだとその時気づきました。構成人員が異なる授業で意見を交わすのはとても有意義なことだと思います。

### 国際文化学部1回生

私は社会基礎学の講義を通して、日本の第一線で活躍されている素晴らしい先生方のお話を聞くことができ、様々な分野の知識を吸収することができ、今までまだまだ遠いと思っていたけれど、少し不安に思っていた自分の就職や将来の仕事についてのイメージをより掴むことができたのではないかと思います。私が最も魅力的に感じたのは、目の前で講義をして下さった国会議員の内閣府にいる西村康稔先生や、防衛庁の鈴木敦夫先生など、私が社会人になったら一度も話せないだろうなと思えるような高官の方や大企業の執行役員の方に質問する時間をとっていただけたことです。私は何人かの先生に質問させていただきました。どの先生方も本当に丁寧に、豊富な知識で私の些細な疑問に答えて下さいました。私は、学生だからこそ何の肩書きもないので、自分の興味のあることに対し自由に質問できることは今しかない貴重なことだと思います。

### 発達科学部1回生

本講義は、多岐に渡って活躍する先生方の話を聞くことができるというのが最大の魅力である。その一つ一つが全く異なる分野であり、毎回新鮮な知識を得ることができる。また、先生方は「グローバル化」という共通の意識のもと、お話し下さるので改めて「グローバル」ということを考えることができる講義でもある。グローバル化が最早当たり前になっている現代、「グローバル化」とは何なのかを土曜日を使って考えてみてはどうか？

### 法学部1回生

正直にいうとこの講義は土曜日なので、貴重なお休みは削られるし、眠くなって辛いと思います。しかしながら、この講義を担当して下さる方は皆さん普段普通に暮らしていて会うのはなかなか難しい人ばかりです。皆さん経験豊富で、私のような1回生にも色々なお話を理解しやすいように話して下さいます。これは非常に貴重な経験だと思います。大学生になり、周りに留学生がたくさんおり、高校生の時よりグローバル化というものや、多様な考え方というものを身近に感じます。それでもまだまだ視野の狭さを感じます。この講義と受けると、今まで見えなかったものが見えるようになるかもしれません。

### 法学部1回生

まず率直にこの授業を受けてよかったと思いました。高校のときにも卒業生として著名な方々が来て講義をして下さいましたが、神戸大学のこの授業では「グローバル化」や「学生はどんな教養・技術を身につけるべきか」という統一したテーマを設けており、学生がどのような姿勢で聞けばよいかハッキリしていて、より関心の高い講義になっていたと思います。自分は法学部で、政治・政策について大変興味がありますが、政治家の方や省庁の方などの生の声を聞けて良い経験になりました。私たちの知らない世界の実状を聞いて、自分の役立つものとなりました。

### 農学部1回生

初めは講義についていけるかという不安でいっぱいでした。しかし、どの回の講義においても、講師の方がとても分かり易く説明してくださり、普段あまり馴染みのない分野に関しても興味をもつことができました。また、日本の世の中について、知っておくべきことがたくさんあることに気づき、今では毎日新聞を読むように心がけています。こんなにも幅広い分野にわたり、日常生活では知り得ない裏事情まで面白く学べる機会は、この社会基礎学をとる以外にはありません。聴講だけでも可能なので、皆さんも是非子の講義を受けてみてください。

### 工学部1回生

基本的にこういった内容が必要となってくる、こういう内容に興味関心を持っているのは経済、経営、法など文系の方々だと思います。ただ、グローバル化の時代と呼ばれる今、世界の中での日本という国については、どこで働くにしても知っておいた方がいいことであると思います。また、日本の状況、日本が今どんな状況にあって、これからはどんな産業で勝負できそうで、こういうところが強い弱いというのを知るのは単純に面白いです。やっぱり自分の住んでいる国だけあって何かと気になってしまうのだと思います。どの講義でも連盟や企業の役員さんや理事であったり、参議院の方や内閣の方など、普段お目にかかれなような人に直接質問することができます。こういった場で質問するのが苦手な人も、容赦ない質疑応答を聞くだけでも楽しめると思います。

### 工学部1回生

様々な分野の最前線で活躍される方々の生の講義が聞けました。正直な話、これだけの数、かつ各分野のトップの方々のお話を聞ける機会はそうないと思います。貴重な機会なので、是非参加すべきだと思います。自分は工学部に所属しています。しかし、一番面白いと思ったのは金融の話でした。銀行や資本の仕組みがよく分かりました。この講座を受けていなければ知らなかったと言ってしまう気にもしない分野の話でした。この講座をとって良かったなと思ったことのひとつです。神戸大学出身の方々もいらっしゃいました。自分のこんな場で講義できる人材になりたいなと思いました。電車の広告や大学のホームページでよく見る「グローバル人材」がテーマの講座なのですが、まだまだ僕には大きなものに思えます。しかし、講座を受ける前と受けた後とは「グローバル人材」のイメージや理想像が変わりました。是非この講座はとるべきです。

### 海事科学部1回生

海事科学部の学生であるため、2回生になると六甲台を離れて深江キャンパスで専門科目に集中することになります。そのため、六甲台にいる1回生のうちに自分の視野を広げておくべきだと思い、受講にいたりました。実際の講義では、普段は大きな講演会に行かなければ聞けないような社会のトップリーダーの先生方のお話を聞くことができ、また、内容も政治から安全保障、金融まで様々なものがあり、自分の視野を広げるのに大いに役立ちました。視野を広げたい、トップリーダーの先生方や社会の最前線の話が聞きたいという方には本当におすすめできる講義です。

### 農学研究科1回生

近年何かと目にする「グローバル化」。そもそもグローバル化とは何か？我々は何ができ、何をしなくてはいけないのか？まさにグローバル社会の先頭にいる各分野の方々はその疑問に答えてくれるような講義です。文系の人はもちろん、理系の人にとっても、グローバル社会においてどのような技術が求められるのか、自分の研究はどのように活かすことができるのかなど、多面的に考える良い機会となるのではないのでしょうか。

# 社会基礎学 推薦文 (平成27年度受講生より)

## 法学部1回生

神戸大学に来てよかったと思えた講座でした。まず、普通であればとてもお目にかかることはできない各部門の第一線で活躍している方々が講師としていらっしゃいます。(実際、先生方同士が出会いの場を楽しんでいらしたようにも見えました。)多忙な方々をこんな山まで呼んでしまえる神戸大学の力に驚きました。さて、講義の内容ですが、「グローバル人材に不可欠な教養」というタイトルではあるものの、グローバル化を礼賛するものではありません。「グローバル」というカタカナにとらわれずに、それでも自ずと世界と関わっているお話をうかがえます。グローバル化がそもそも何なのか分からない人のためにこそあるような講義もありました。土曜日に開催されてはいますが、その貴重な土曜日を各界の第一線の先生方が我々のために潰してくださる有難い講義です。色々なお考えをお持ちの先生がいらっしゃいます。様々な視点を学べるいい機会だと思います。

## 経済学部1回生

毎回講義をして頂くのは皆各業界で活躍しているリーダーばかりで堅苦しい講義になるだろうなと想像していましたが、実際は正反對なものでした。講義はいつも明るくて、学生とのやりとりも必ずあります。講義はPPTに沿って行われるが、他にも様々なことを話してくれました。仕事をしている中で実際にあった事や、これまでの人生経験を聴いていくうちに、大人社会へのイメージがよりクリアで現実味があるものになりました。まだ大学に入りたてで、毎日の勉強が将来にどう繋がるのか、未来キャリアをどう描けば良いのか、それを実現するために今日からこつこつできることは何か分からない中で、この授業に出会うことができ本当に良かったです。この講義を受けて、日々の勉強に意義を見出し、積極的になりました。1回生の皆さんにぜひ受けてほしいです。

## 経済学部1回生

当講義を聴講して感じた率直な感想としては、講師の方々、受講生共にレベルが高いというものであった。プレゼンでは各界の講師が様々な観点からグローバル化について考察しており、プレゼンを通して多種多様な知識や考え方を吸収することができたように思う。しかし、何より私にとって一番大きな収穫はレベルの高い人たちに囲まれて講義に参加することで大いに刺激を受けたことであつたように思う。本講義を受講して確実に私の学習意欲、知的好奇心は高まった。グローバル化について興味が無い人であっても参加すると有意義な時間になることは間違いないと思う。

## 経営学部1回生

この講義は、現在、社会のあらゆるところで活躍なさっている方々が、リレー方式で順番に講義して下さるという特殊な形式がとられています。それぞれの専門の方が、現在のことを話して下さるので、学生という枠の中にいる私にとって、とても刺激のあるものでした。たくさんの視点や価値観を学べるので、受ける価値のある講義だと思います。

## 医学部1回生

私は、シラバスに「産業界・官界、政界のトップリーダーがリレー講義を実施」という記載に惹かれ、本講義を受講することを決めました。トップリーダーと言われる方々の講義は、全てが面白く興味深いものでした。また、最新の情報を教授されますので、日本の現状を知ることができ、今後の各分野の動向も気になるようになりました。本講義は「社会基礎学」の名の通り、「グローバル化」に必要な社会基礎を知り、自分の視点をより深めることのできる講義だと思います。学べる時間がある今、ぜひ聴講したほうが良い講義だと感じました。

## 医学部1回生

医療系の分野で働くことを目指す者ですが、社会に向けて広い視野を持ちたいと思い、この講義を受講することに決めました。様々な分野の第一線で働く方々を講師としてお招きし、グローバル化についての講義を通じて、様々な角度から世界を見つけていきます。講義自体、各先生の工夫やメッセージの詰まった大変興味深いものですが、講義後の質疑応答やディスカッションも中身の濃いものです。学部、学科は違えど、同世代の人たちの意見や考え方に自分にはないものを感じてハッとさせられることが多かったです。この講義には、ほぼ全ての学部から聴講者が集まっています。また、附属中等学校の生徒さんも受講しています。良い刺激を受けることができると思いますので、興味のある方は受講を考えてみてはどうでしょうか。「グローバル人材」になるための第一歩を踏み出せるはずですよ。

## 医学部1回生

この講義では、様々な専門性を持つ講師が講義をしてくださいますが、1、2回生の教養を学ぶときに他の専門の話聞いてディスカッションするのは自分の視野が広がる良い機会ではないでしょうか。また、この講義は一貫してグローバル化とは何かについて学び考えます。グローバル化について何かしら意見を持っている方が多いと思いますが、もしかしたらこの講義で考えが変わるかもしれません。また、考えは変わらなくとも、新たな気づきを得ることもあるかもしれません。ぜひ、土曜日のこの講義で「グローバルとは何か?」について学び、考えてディスカッションしてみませんか?

## 理学部1回生

理系に身を置きながら、社会の第一線で活躍されているの方々による講演を聴き、直接質問ができるという機会いはそうそう無いと思います。興味はあるけれど時間が無いという方は、とりあえず単位を得るために履修してみましょう。得られるのは単位だけではないはずですよ。受講する前に悩む必要はありません。

## 理学部1回生

私は理学部なので、政治や社会に関する授業はほとんどありません。だから、この授業は普段触れない分野に触れることができました。話を聞く前は、この分野興味ないなと思っていたこともありましたが、話を聞いてみると、色々な経験をされてきた先輩方のお話は興味深かったです。考えたこともなかったことを考える機会になったり、興味のなかったことに興味を持てるきっかけになりました。自分の視野の狭さも痛感しました。私は履修せずに聴講していました。全部の授業に出るのは面倒だという人も少しでも参加してみると自分の将来の選択肢を増やすことができるかもしれません。

## 農学部1回生

多岐にわたる分野の先生方が来られるので、この社会基礎学という講義は大学生によくある自身の専門分野の観点でのみ物事を捉えがちな考え方を、様々な視点で見つめ直せるようになる絶好の機会だと思います。また、大学生にとって、社会人の先輩とは2〜3歳上、高くとも5歳上程度でしょうが、この講義の先生方は第一線で戦っておられる社会である程度のキャリアを積んだ方々なので、そのような方々と意識を共有できるのもこの講義の魅力だと思います。休日の講義なので、多少ハードルは高いですが、受講して絶対に損はしないと思います。